2026年11月18日

各　　位

会社名　レオン自動機株式会社
代表者名　代表取締役社長　小林　幹央
(コード番号：6272　東証プライム市場)
問合せ先　常務執行役員　管理本部長
福田　忠男
(TEL.028－665－1111)

(訂正)　「2027年3月期 第1四半期決算補足説明資料」の一部訂正について

2026年8月6日に公表いたしました「2027年3月期 第1四半期決算補足説明資料」について、一部記載に訂正が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、発表済みの決算短信に訂正はありません。

記

1．訂正の理由

開示後に、記載内容の一部に誤りがあることが判明したため、これを訂正するものであります。

2．訂正の内容

別紙をご参照ください。訂正箇所は赤字で表記し、下線を付して表示しております。

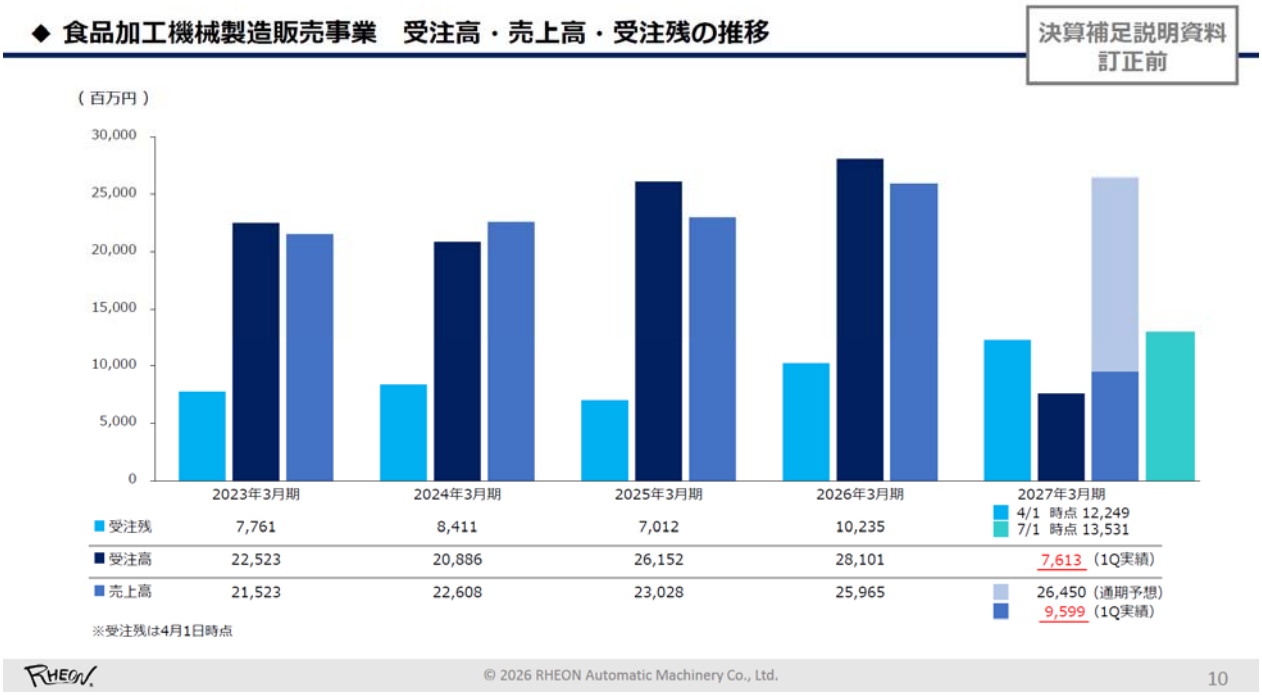
以　上

（別紙）

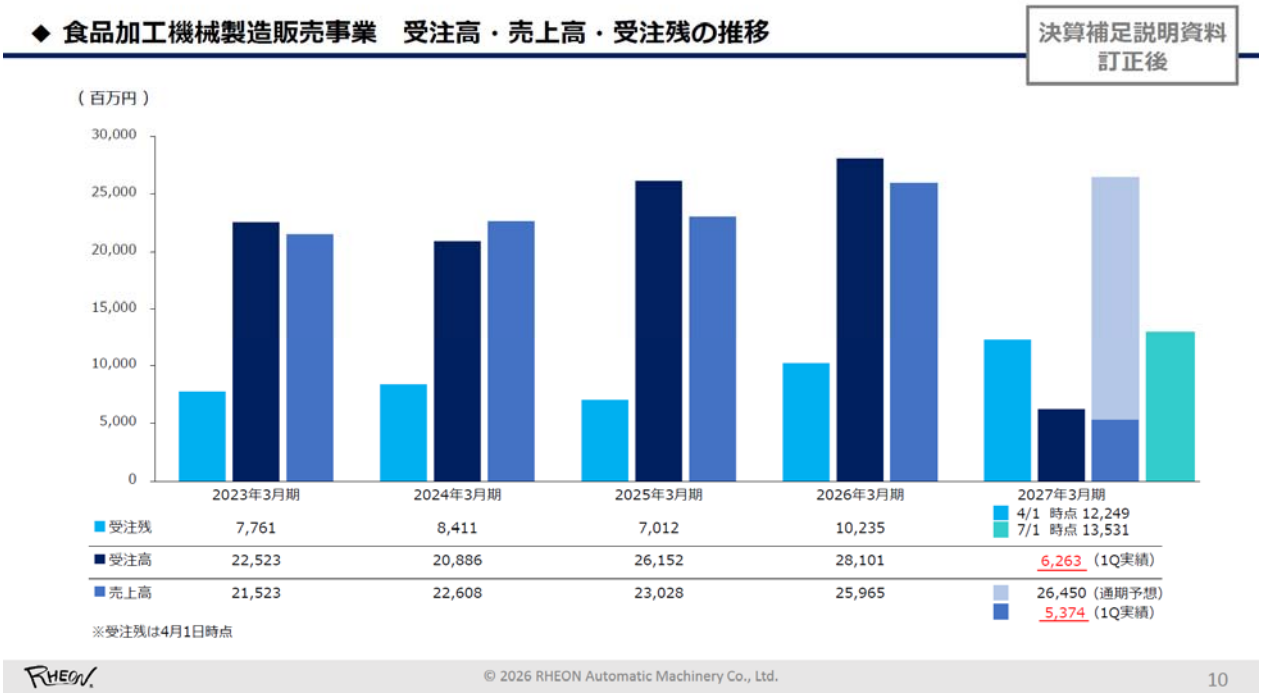
＜補足説明資料　10 ページ＞

「食品加工機械製造販売事業」受注高・売上高・受注残の推移

〔訂正前〕



〔訂正後〕



【訂正版】

2027年3月期　第1四半期決算補足説明資料

2026年8月6日

レオン自動機株式会社
RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.
証券コード（ 6272 ）

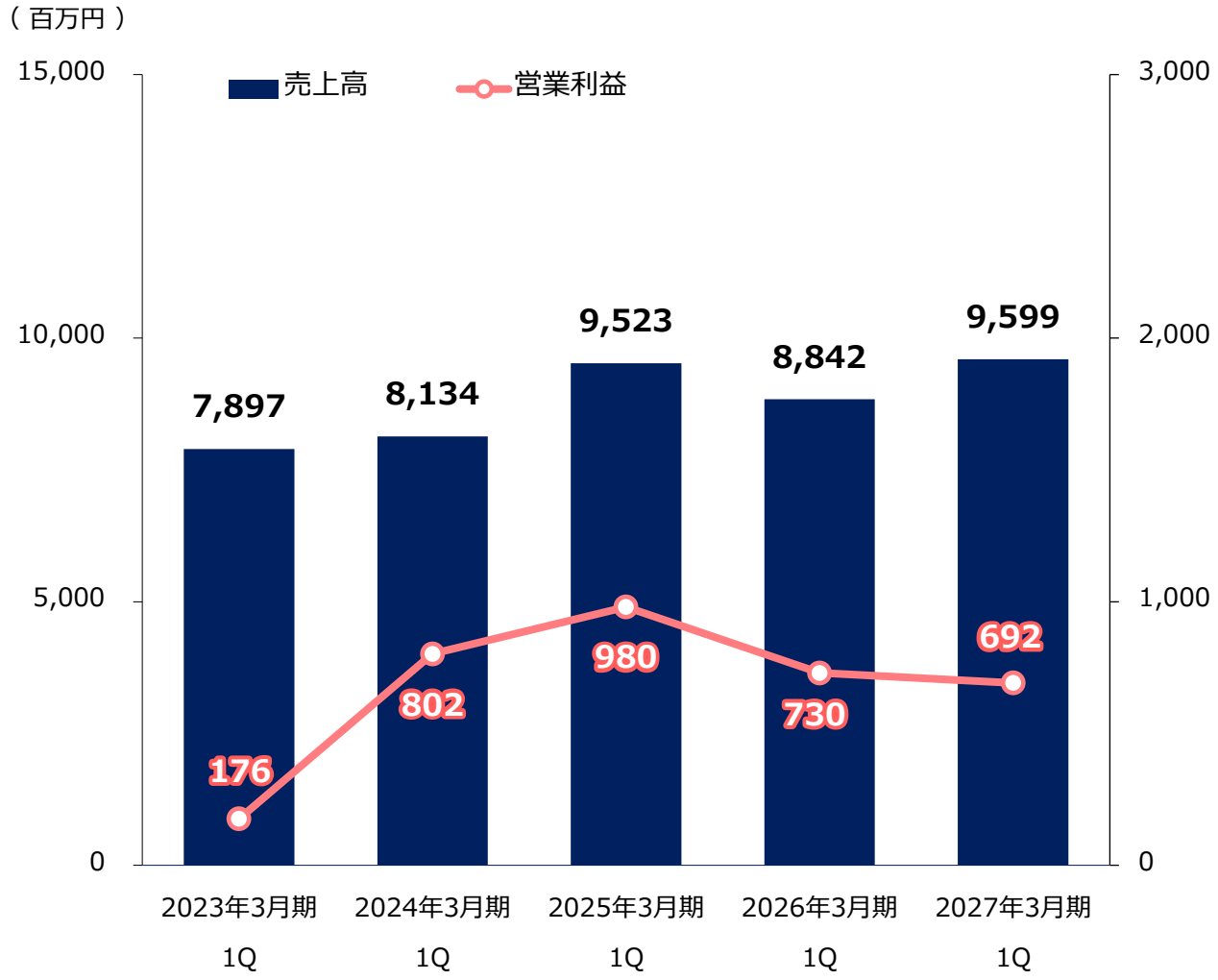
◆ 連結計算書サマリー

（百万円）	2026年3月期 1Q実績	2027年3月期 1Q実績	増減額	増減率 （%）	2027年3月期 2Q業績予想 （進捗率）
売上高	8,842	9,599	756	8.6 %	21,000 (45.7 %)
営業利益	730	692	▲37	▲5.1 %	2,830 (24.5 %)
経常利益	707	829	122	17.3 %	2,860 (29.0 %)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	436	605	169	38.8 %	1,970 (30.8 %)
期中平均為替レート	USドル=144.59 円 ユーロ = 163.80 円	USドル=159.49 円 ユーロ = 185.39 円	—	—	USドル=150.00 円 ユーロ= 175.00 円

※四半期ごとの計画開示は行っていないため、第2四半期業績予想に対する進捗率を記載しております

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 過去5年の業績推移



USドル	129.57 円	137.36 円	155.89 円	144.59 円	159.49 円
ユーロ	138.12 円	149.47 円	167.88 円	163.80 円	185.39 円

主な増減要因

- 前期比で売上高は増加、営業利益は微減
- 売上高への為替影響額＋705百万円
- 主な営業利益の増減要因

  売上総利益　＋359百万円

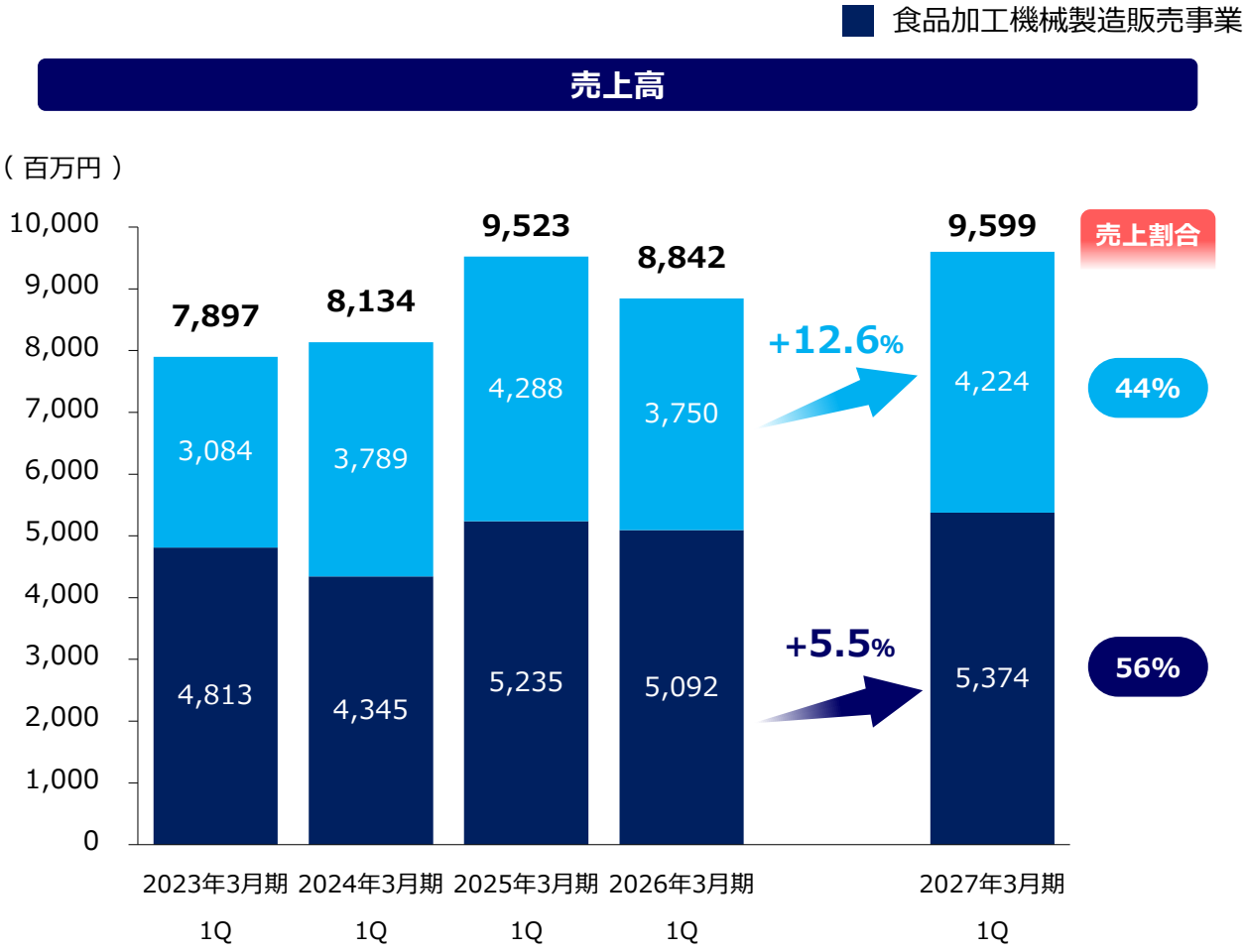
  荷造運搬費増加　▲166百万円

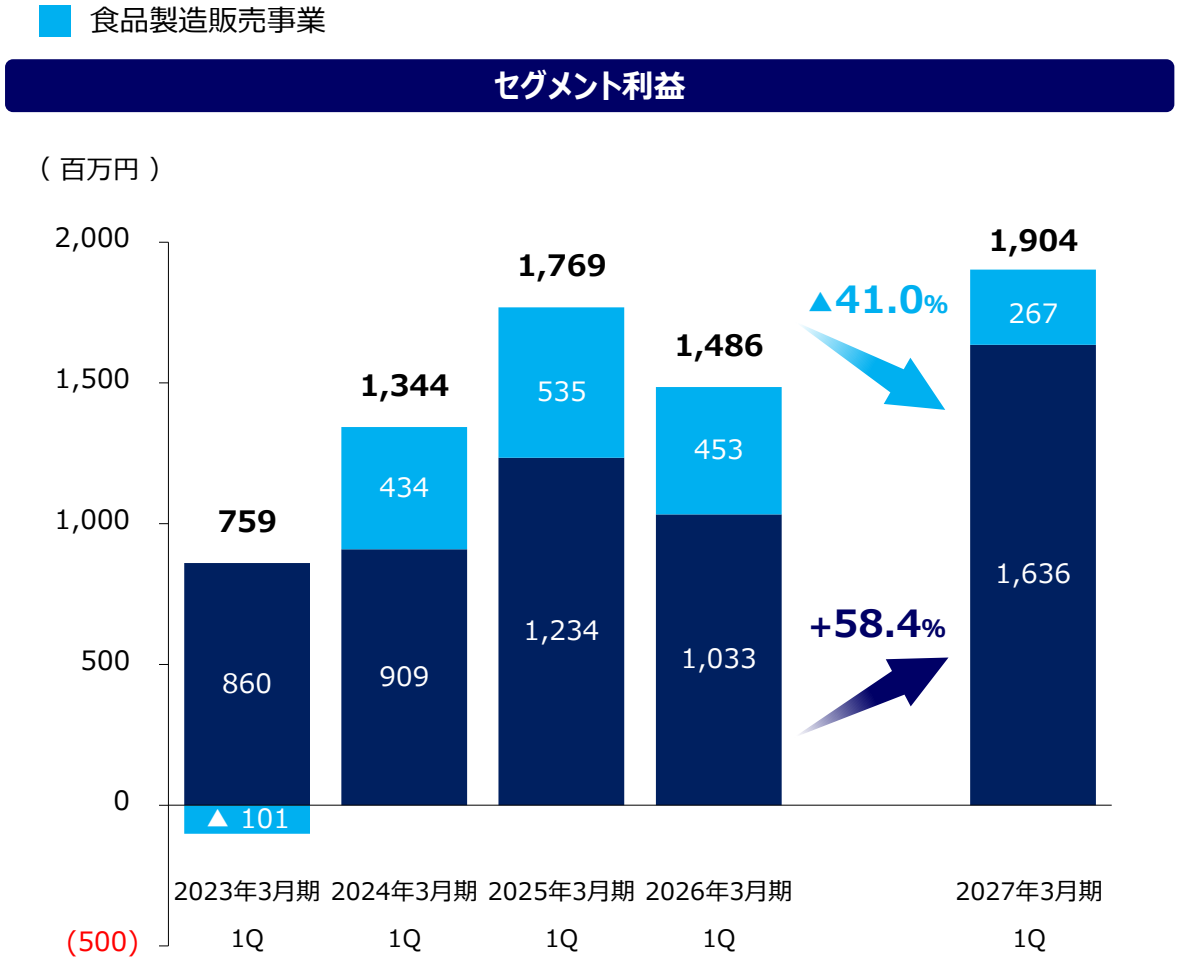
© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業・食品製造販売事業　《 事業別売上高・セグメント利益 》

食品加工機械製造販売事業　欧州向けの売上が大きく伸長し全体を牽引。売上高増加の影響で利益が増加。

食 品 製 造 販 売 事 業　米国での販売増と円安影響により増収したが、原材料価格の高騰と荷造運搬費の増加により減益。



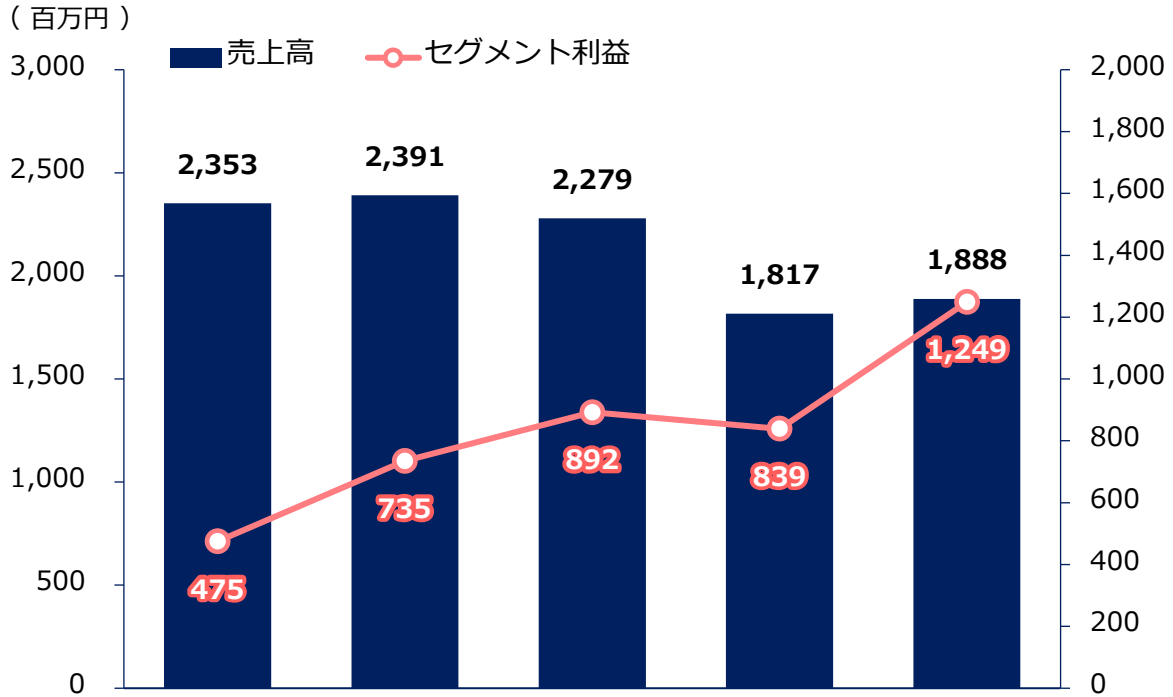


© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　日本《 過去5年　売上高・セグメント利益 》

- 大型製パンライン等、修理その他、仕入商品の売上は減少したが、食品成形機の売上が増加し、前期比微増。
- 2Q（7月－9月）納入案件は増加予定であり、上期の計画は達成する見込み。

売上高･セグメント利益



売上高 対前年増減率	+1.6 %	-4.7 %	-20.3 %	+3.9 %

主な増減要因

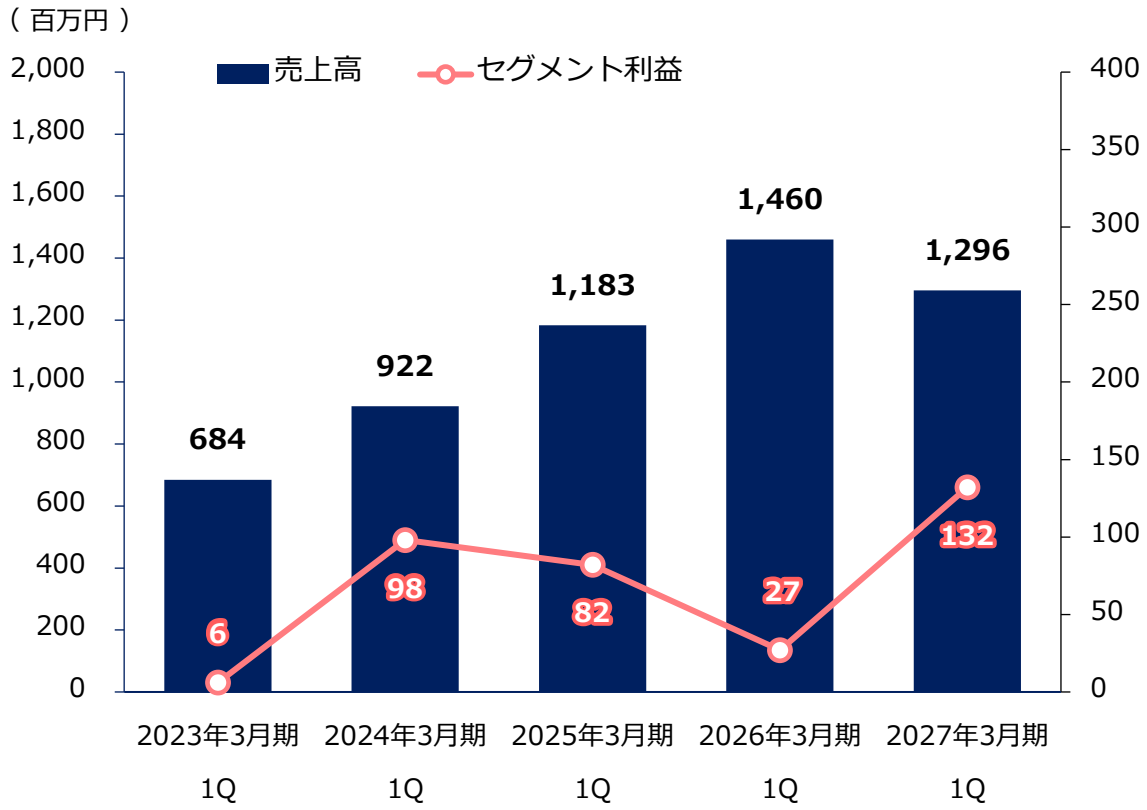
- 大手・中堅ベーカリーによる製パンライン等の需要は堅調さを維持しているが、顧客都合による期ずれにより前期比で減少
- 食品成形機の売上は「中小企業省力化投資補助金」を活用した買替需要により前期比増加
- 修理その他の売上は前期比微減

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　北米・南米《 過去5年　売上高・セグメント利益 》

- 1Qは大型案件の減少により、相対的に前期比で売上が減少。
- 製パンライン等の大型案件は確保できており、上期での計画は順調に推移している。

売上高･セグメント利益



売上高 対前年増減率	+34.8 %	+28.3 %	+23.4 %	-11.2 %

主な増減要因

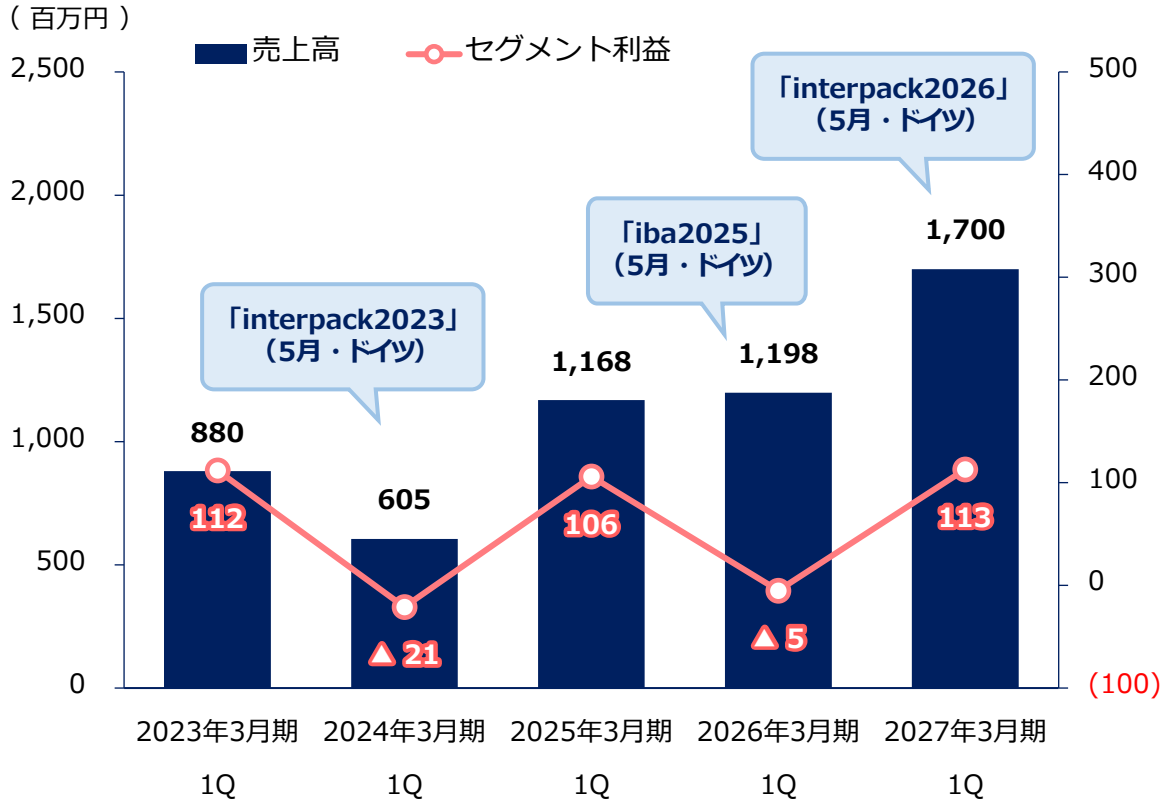
- 大型製パンライン等の納入予定案件が多く、2Q末時点では計画達成を見込む
- 健康志向の高まりを背景とした食品成形機の需要が堅調
- 修理その他の売上は好調を維持
- セールスミックスの変化による原価率の低下で利益が増加

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　ヨーロッパ《 過去5年　売上高・セグメント利益 》

- 欧州全域で製パンライン等、食品成形機、修理その他の販売が好調で、売上、利益ともに大幅に増加。
- リピート案件の受注が多く、設備更新需要は好調に続く見込み。

売上高･セグメント利益



売上高 対前年増減率	-31.3 %	+93.1 %	+2.6 %	+41.9 %

主な増減要因

- 現地通貨ベースでの売上高は、

  前期比で25.5%増加

- 製菓メーカー向けの大型製パンライン等が好調
- 食品成形機は大口の設備投資があり販売が増加
- 製品売価改定前の駆け込み需要の取り込みや

  欧州地域の設備投資需要が堅調に推移

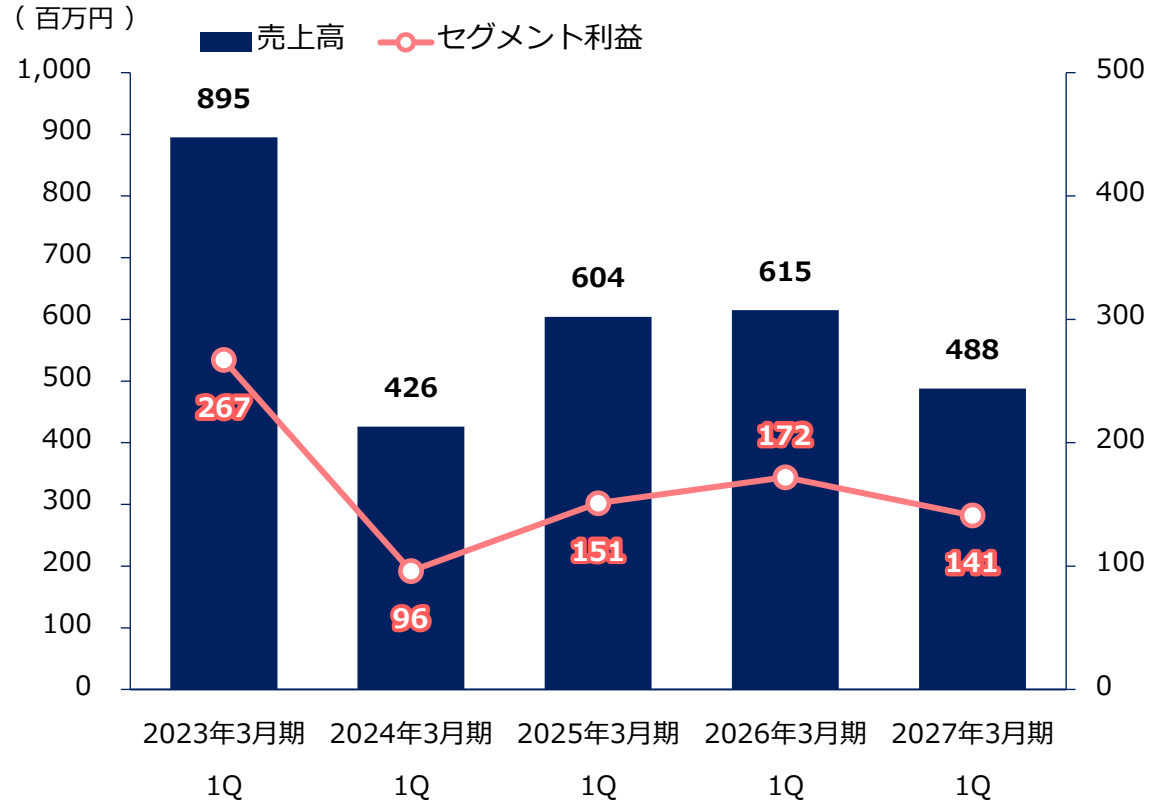
- 修理その他の売上も増加

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　アジア《 過去5年　売上高・セグメント利益 》

- 修理その他の売上が増加したが、製パンライン等、食品成形機の売上は減少。
- 2Q（7月－9月）納入案件は確保できており、上期の計画は達成予定だが、前期比では減少する見込み。

売上高･セグメント利益



売上高 対前年増減率	-52.4 %	+41.8 %	+1.8 %	-20.6 %

主な増減要因

- 大型案件の減少の反動で前期比売上、利益が減少
- 中国、インド、オセアニア地域の需要は増加傾向
- 中国、インド、韓国、オーストラリアの顧客ニーズの変化から高付加価値モデルの販売が好調
- 修理その他の売上は増加

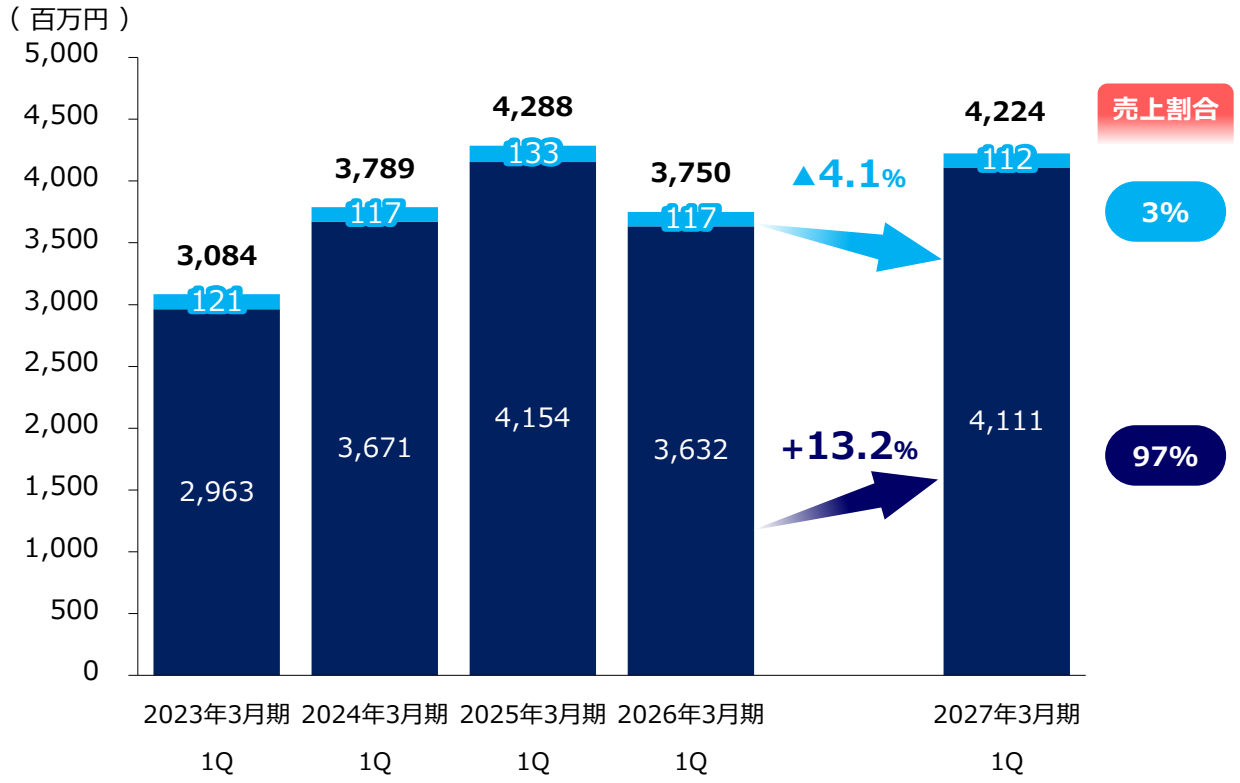
© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品製造販売事業　《 地域別売上高・セグメント利益 》

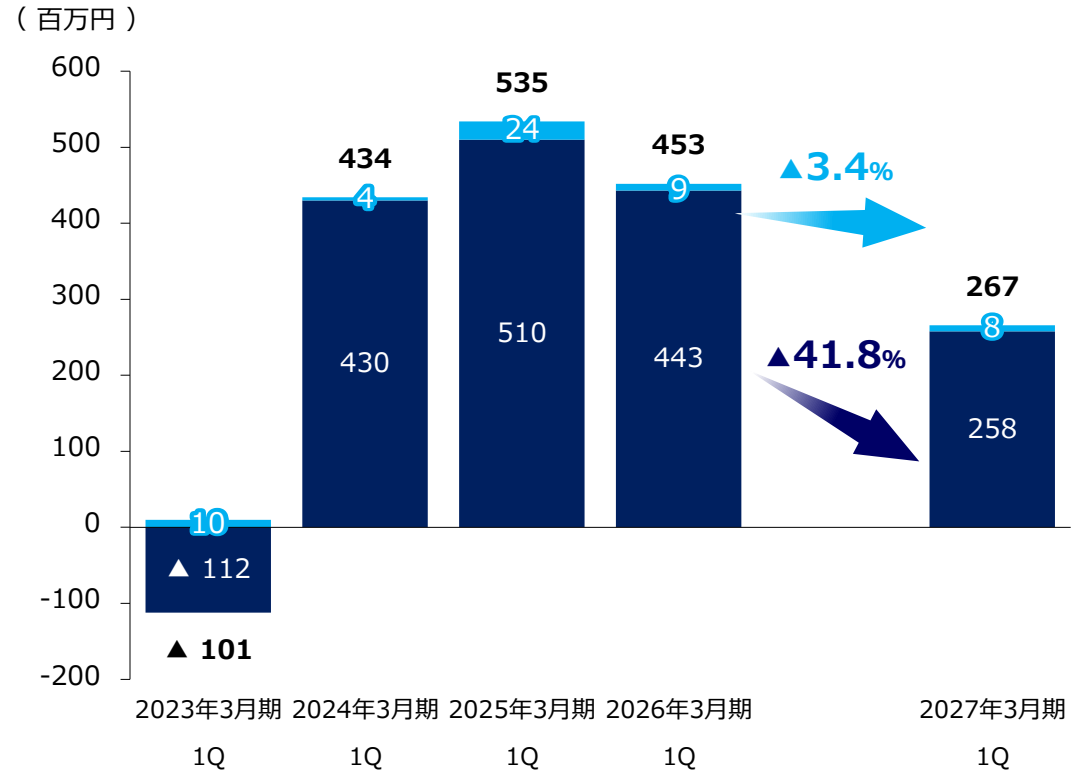
売　上　高	● 北米・南米	新規顧客向けの売上が増加したことにより増収。
	● 日本	大口顧客向け売上が回復せず、前期比微減。
セグメント利益	● 北米・南米	油脂材料や原油価格の高騰により、利益が減少。
	● 日本	売上の減少により、利益も低下。

■ 北米・南米（オレンジベーカリー）　■ 日本（ホシノ天然酵母パン種）

売上高



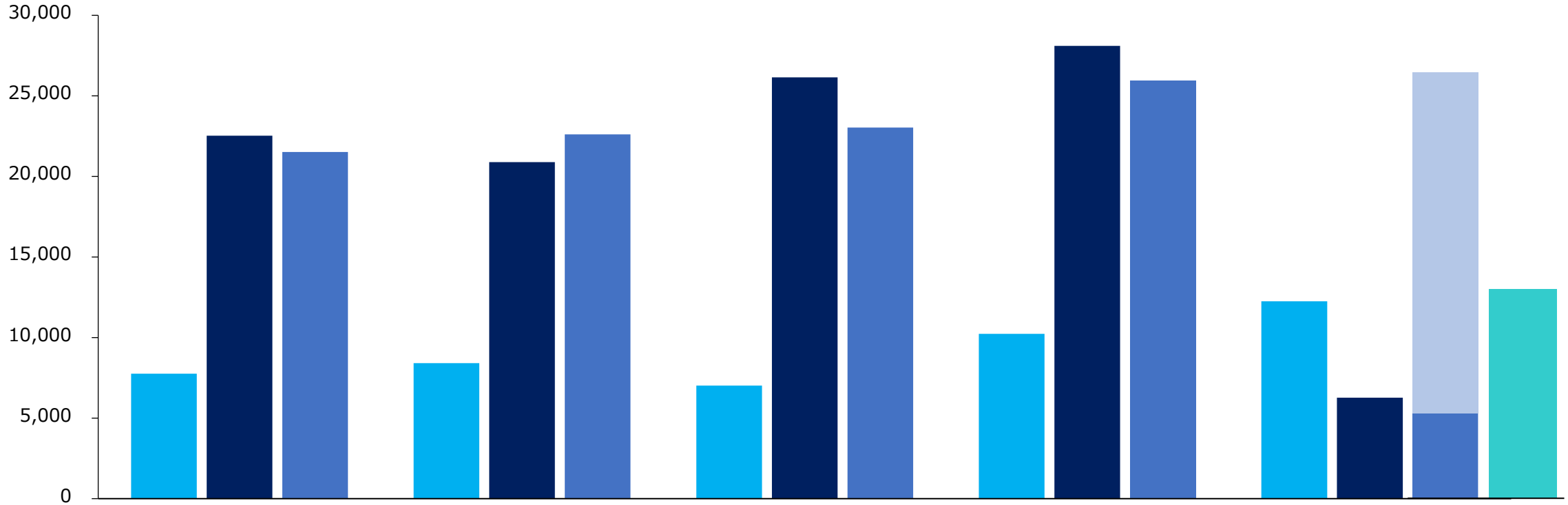
セグメント利益



© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　受注高・売上高・受注残の推移

（百万円）



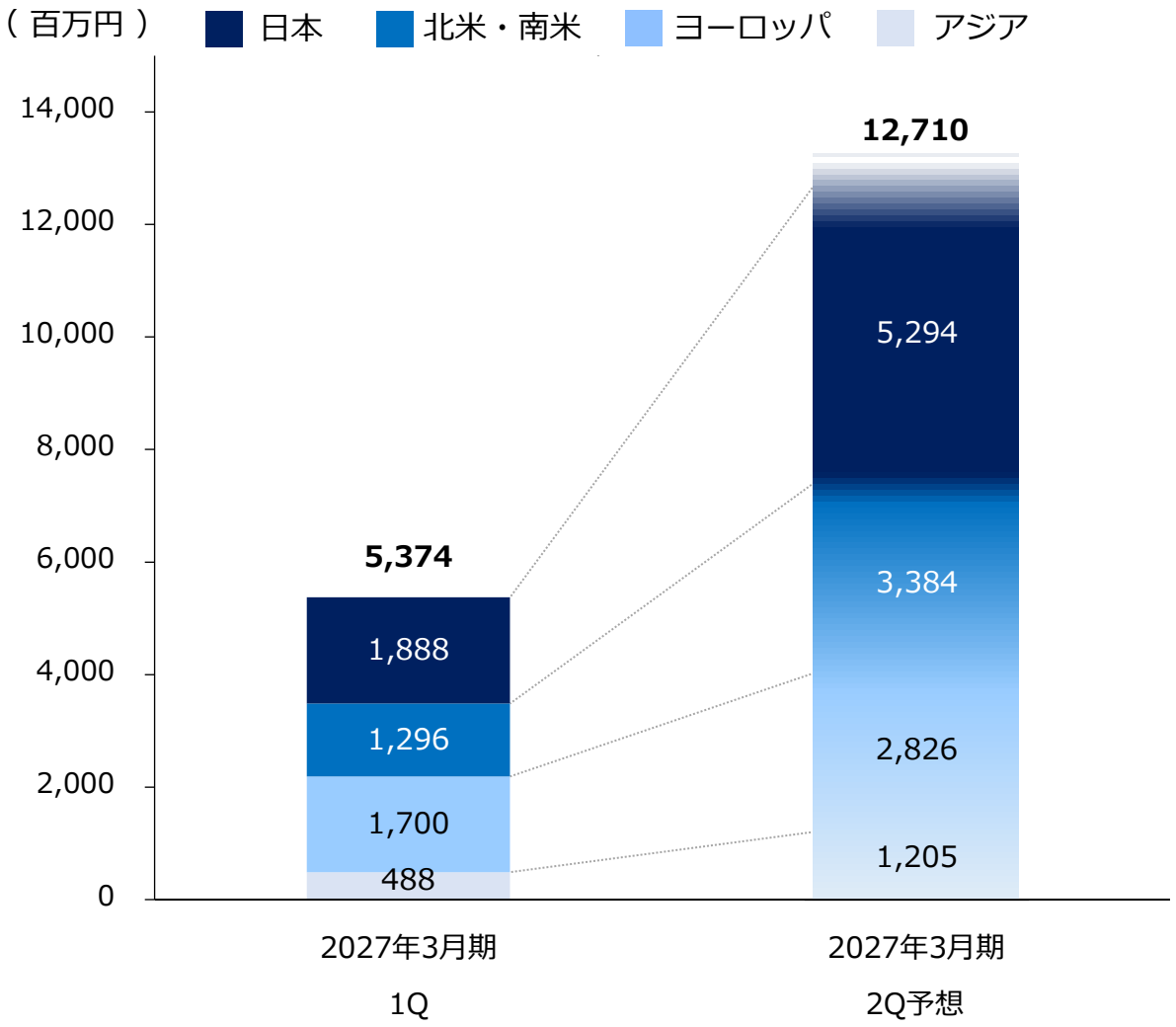
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
受注残	7,761	8,411	7,012	10,235	4/1 時点 12,249 7/1 時点 13,531
受注高	22,523	20,886	26,152	28,101	6,263（1Q実績）
売上高	21,523	22,608	23,028	25,965	26,450（通期予想） 5,374（1Q実績）

※受注残は4月1日時点

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 事業別業績予想　食品加工機械製造販売事業

売上高予想



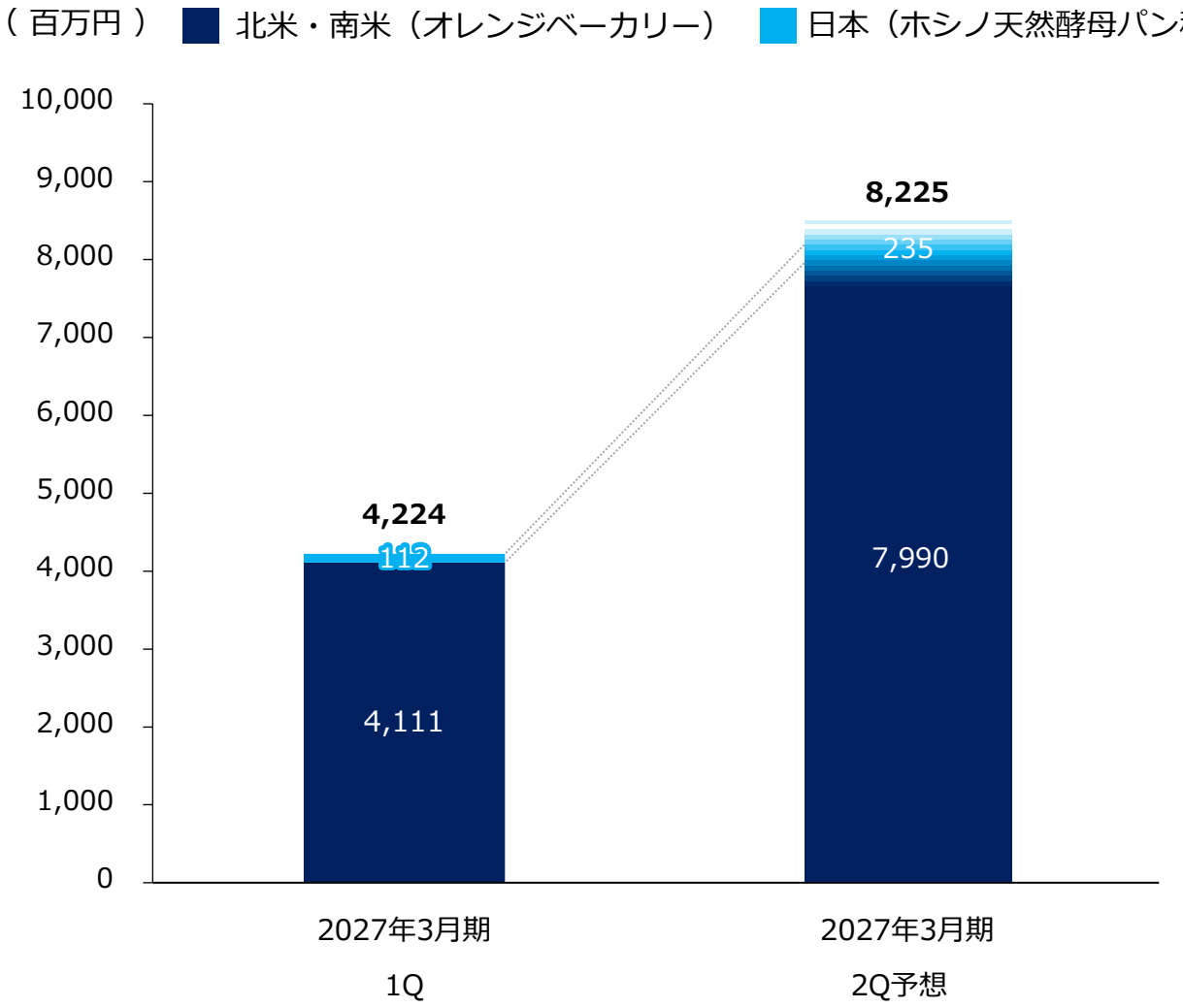
日本	● 大手メーカーからの設備更新需要は堅調に推移するものと予想 ● 製パンライン等の2Q（7月－9月）納入案件が増加予定であり、上期の計画達成を見込む ● 食品成形機に加え、小型製パンライン等が「中小企業省力化投資補助金」の対象に登録されたことにより、補助金を活用した案件の増加を見込む
北米・南米	● 大型製パンライン等の好調な受注が継続 ● 展示会（IBIE）での見込客へのアプローチを引き続き強化 ● セミナーを実施し、食品成形機の活用方法の提案から見込客の増加を図る ● 修理その他では、スペアパーツやオプションの販売にも注力する
ヨーロッパ	● 主力の小型製パン機であるツインデバイダーのほか、食品成形機の更新、増機による販売が好調 ● 欧州全域でリピート案件が堅調であり、代理店と連携して対応中 ● 中東地域での旺盛な需要に対応し、営業活動を強化 ● 展示会（interpack）での見込み客へアプローチ ● 修理その他の売上も計画通りに推移しており、上期計画達成を見込む
アジア	● 2Q（7月－9月）に納入案件が控えており、上期計画は達成する見込み ● 中国での食品成形機の販売は改善傾向 ● オセアニア地域で製パンライン等、食品成形機の受注があり好調を維持 ● インドマーケットでは、包あん機や製パンライン等の受注が増加し、売上は前期を上回る見込み

※数値は第2四半期の業績予想を記載しております

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 事業別業績予想　食品製造販売事業

売上高予想



北米・南米（オレンジベーカリー）

- ホイロ後冷凍商品ラインアップを増やし、市場の拡大を引き続き強化
- 油脂材料価格の高騰や荷造運搬費の高止まりにより、収益圧迫要因は継続する見込み

日本（ホシノ天然酵母パン種）

- 各種展示会への出展や製品講習会、見込み客向け個別提案会の実施により売上増加を図る
- 売上減少先への販売促進活動を強化し、各販売先に合った提案営業を行い、売上回復を図っていく

※数値は第2四半期の業績予想を記載しております

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

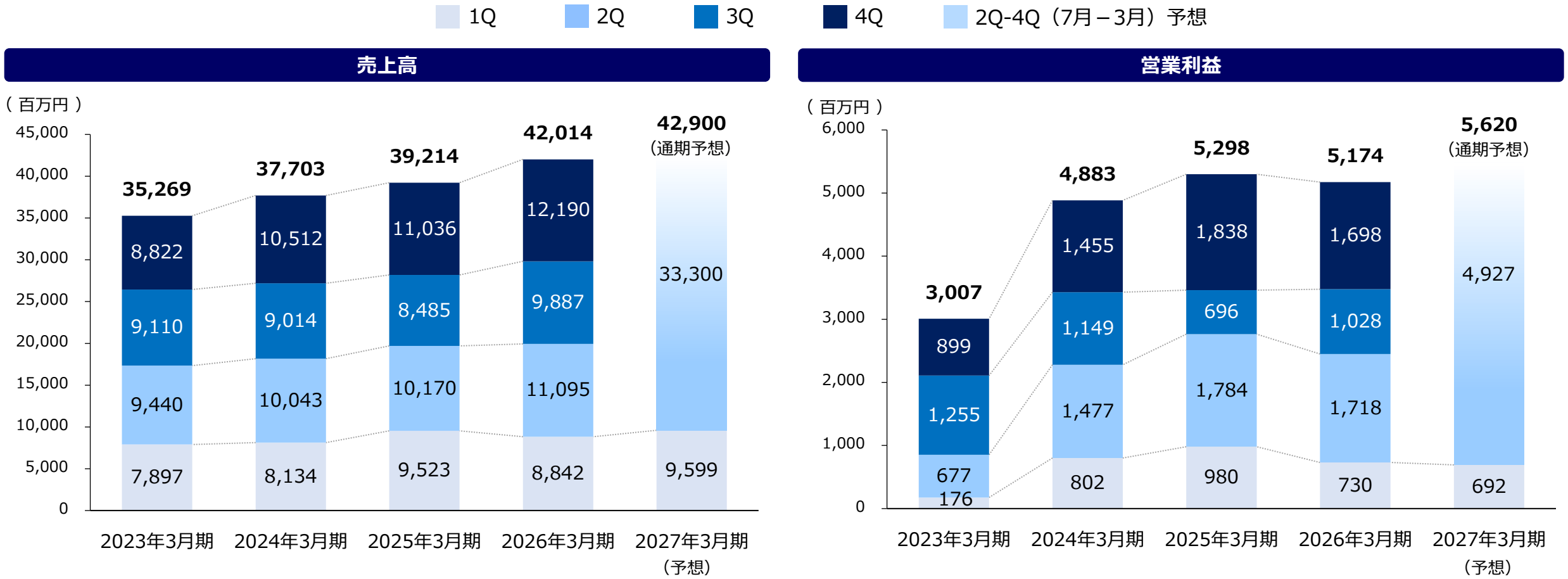
◆ 連結貸借対照表サマリー

（百万円）	2026年3月期（2026年3月31日）		2027年3月期 1Q（2026年6月30日）				
	金額	構成比（%）	金額	構成比（%）	増減額	増減率（%）	主な増減要因
資産合計	54,405	100 %	54,903	100 %	497	0.9 %	–
流動資産	25,654	47.2 %	25,056	45.6 %	▲598	▲2.3 %	● 仕掛品の増加 ● 受取手形及び売掛金の減少　など
固定資産	28,750	52.8 %	29,847	54.4 %	1,096	3.8 %	● 投資有価証券の増加　など
負債合計	11,342	20.8 %	11,391	20.7 %	48	0.4 %	–
流動負債	9,620	17.7 %	9,981	18.1 %	360	3.7 %	● 前受金の増加 ● 買掛金の減少　など
固定負債	1,722	3.2 %	1,410	2.6 %	▲311	▲18.1 %	–
純資産合計	43,062	79.2 %	43,511	79.3 %	449	1.0 %	● その他有価証券評価差額金の増加　など
負債純資産合計	54,405	100 %	54,903	100 %	497	0.9 %	–

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆四半期毎の売上高・営業利益推移

- 1Q（4月－6月）売上高は欧州などの販売好調により前期比8.6%増加。
- 営業利益は原材料価格や荷造運搬費の高騰などの影響により微減。

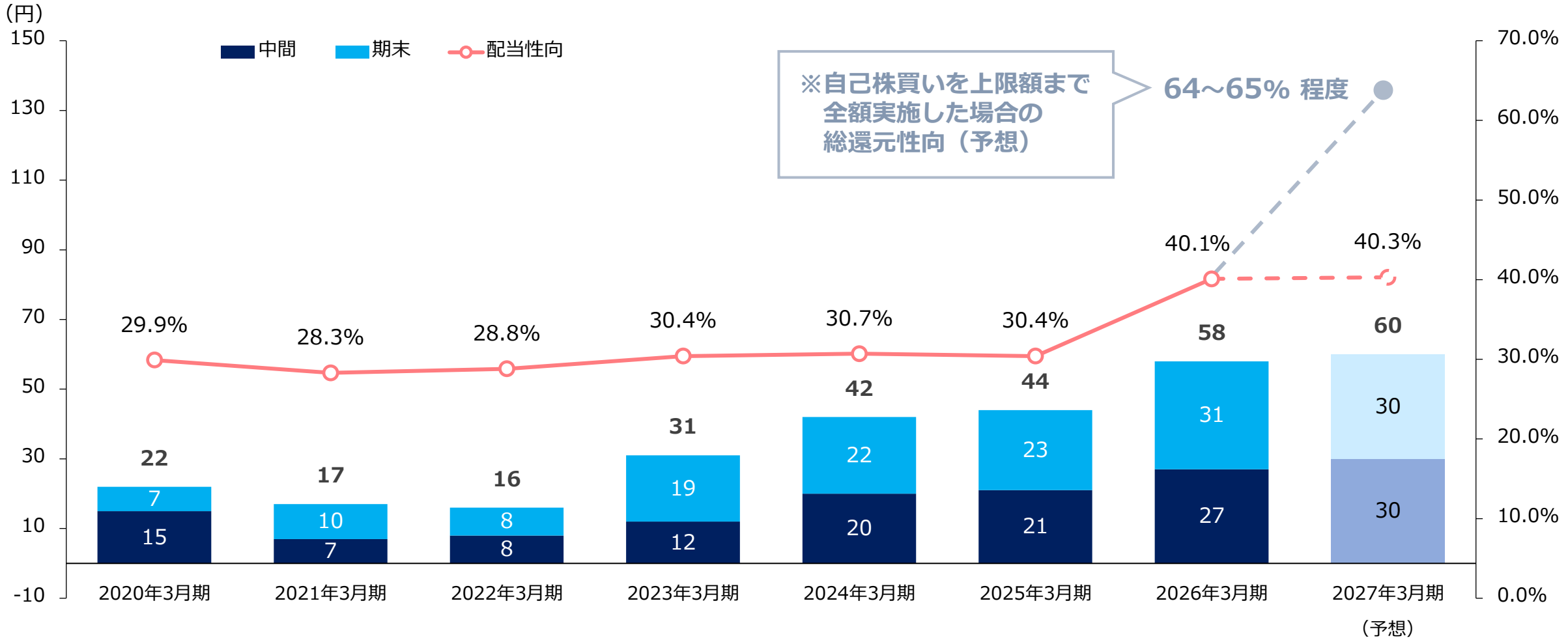


※2027年3月期（予想）の数値は通期業績予想を記載しております

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 配当方針

- **今中期経営計画期間中（2026年3月期から2028年3月期）の連結配当性向の目標を40%以上とし、業績等を総合的に勘案し安定的な「累進配当」を行うことを基本方針とする。**



© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

《 社名の由来 》

レオン自動機の「レオン」は、レオロジー（流動学）に由来します。レオロジーとは、粘性や弾性の流動を解明する科学であり、
当社の創業者（名誉会長 林虎彦）が、レオロジーを応用し、世界初の包あん機を開発したことから名づけました。

【　免責事項　】

本資料の将来的予測に関する業績・事業計画などは資料作成時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的リスクや不確実性を含んでおります。そのため、実際の業績・財務状況は今後の経済動向・市場の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

© 2026 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.